

# 伊豆持越川小水力発電所事業性評価調査事業

## 1. 事業の目的

本事業は、「伊豆持越川小水力発電所計画」の事業化可能性を判断するため、地形測量および基本設計を実施し、技術的条件および経済性の基礎資料を整備することを目的として実施する。

## 2. 事業の内容

- (1) 事業者名  
株式会社竹中工務店
- (2) 補助事業の名称  
伊豆持越川小水力発電所事業性評価調査事業
- (3) 事業期間  
令和7年6月11日～令和8年1月30日
- (4) 調査を実施する発電設備の概要
  - a. 発電形式：水路式
  - b. 使用水量：0.175m<sup>3</sup>/s
  - c. 有効落差：135.25m
  - d. 出力：197.2kW

## 3. 令和7年度の事業実施概要

- ① 地形測量  
基準点測量、水準測量、地形測量、中心線測量、縦断測量、横断測量を行なった。
- ② 基本設計  
取水施設、導水路、沈砂池・ヘッドタンク、圧力管路、発電所基礎、放水施設の設計を行なった。

## 4. 事業の成果等

(1) 調査の結果  
地形測量を実施し、その成果に基づき基本設計ができたことで、事業化判断の大前提となる下記事項の確認ができた。

- ① 発電量の確認  
水槽水位と放水位の差に、損失落差を加味して有効落差を算出するとともに、水量調査結果と維持水量を踏まえ年間発電量を算出した。
- ② 土木構造物に関する工事内容と課題の確認  
取水施設・導水施設・発電施設・放水施設等の基本的な設計図面の作成および数量の算出とともに、工事の手順・課題が確認できた。

(2) 事業性の評価  
土木工事費の精度向上とともに、他の主要項目についても見積を取得して積み上げた概算事業費が、年間キャッシュフローから想定される投資上限額の範囲内に収めることが、現状困難であることを確認。今後、水車・発電設備に関わる為替動向および機器価格の精査結果を踏まえたうえで、最終的な事業化について総合的に判断する。



## 5. 事業スケジュール

項目	令和7年度（実績）											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地形測量				■								
基本設計						■						
事業性評価 （自主事業）										□		

計画ルート